



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)長島 雅  
 問合せ先責任者 (役職名)総務総括マネージャー (氏名)石井 隆 (TEL)047(459)7541  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,905	0.49	△278	—	△273	—	△294	—
23年3月期第2四半期	4,881	△8.77	△251	—	△278	—	△417	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △273百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △439百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△16.03	—
23年3月期第2四半期	△22.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,826	5,907	60.1
23年3月期	10,150	6,236	61.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,907百万円 23年3月期 6,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	0.8	200	—	200	—	100	—	5.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	18,392,000株	23年3月期	18,392,000株
24年3月期2Q	33,406株	23年3月期	32,561株
24年3月期2Q	18,358,956株	23年3月期2Q	18,360,848株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により、電力不足、放射性物質の漏れ等のリスクが存在しました。また、新興国の人口増加による穀物の絶対量の不足など、先行き不透明な事態となっております。

人口構造も高齢化、1人、2人世帯が増加し、食生活に対するニーズも多様化しております。それぞれの価値観が異なり、食生活の課題を解決する商品とサービスを提供することが課題となっております。生活者の食に関する意識も震災後、安心安全、無駄、家族の絆を意識するようになり、大きな変化が起きております。

当社グループにおいても震災の影響により、生産拠点の直接的な被害に加え、電力不足、原料、包材の調達にも支障をきたしたため、商品供給が一時的に大きく低下いたしました。その環境下で当社グループは、八千代工場の生産量を一部京丹波工場へシフトし、生産品目の集約を行いました。

また、放射性物質の汚染による食品の安心安全への関心が一層高まったことにより、当社グループは原材料履歴管理システムにより、産地の情報提供、放射性物質の検査体制を確立してまいりました。

震災により影響があった事項は以下の通りです。

- ・原料、包材の調達に支障をきたし供給不足となったことによる売上への影響
- ・八千代工場の一部が被災したための修復費用
- ・リスク分散による八千代工場の生産量を一部京丹波工場にシフトした費用
- ・放射性物質の検査費用
- ・電力不足の対策費用
- ・耐震性に問題がある建物の再構築費用
- ・原材料履歴管理システム向上のための費用

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、49億5百万円（前年同期比23百万円増）となり、営業損失は災害復旧工事等による修繕費の増加、燃料および原材料の高騰により2億78百万円（前年同期は2億51百万円の営業損失）となりました。これにより経常損失は2億73百万円（前年同期は2億78百万円の経常損失）となりました。また、法人税等を計上した結果、当第2四半期純損失は2億94百万円（前年同期は4億17百万円の純損失）となりました。

製品別チャンネル別業績の概況は、次の通りであります。

(単位:千円)

製品別売上高	前第2四半期連結累計期間 (22.4.1～22.9.30)		当第2四半期連結累計期間 (23.4.1～23.9.30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
食肉加工品(ハンバーグ・ミートボール他)	4,435,154	90.9	4,473,221	91.2	38,067	100.9
炊き込みご飯・まぜご飯	174,195	3.6	188,375	3.8	14,179	108.1
惣菜(サラダ・煮物他)	195,809	4.0	183,016	3.7	△12,792	93.5
調理用ソース	31,347	0.6	21,999	0.5	△9,348	70.2
冷凍食品	2,621	0.1	3,597	0.1	975	137.2
配慮食	1,643	0.0	3,163	0.1	1,519	192.5
その他	40,522	0.8	31,643	0.6	△8,879	78.1
合計	4,881,295	100.0	4,905,017	100.0	23,722	100.5

(単位:千円)

(チャネル別内訳)	前第2四半期連結累計期間 (22.4.1~22.9.30)		当第2四半期連結累計期間 (23.4.1~23.9.30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
スーパーマーケット・小売店 他		%		%		%
食肉加工品(ハンバーグ・ ミートボール他)	4,206,452	92.5	4,259,267	92.5	52,815	101.3
炊き込みご飯・まぜご飯	153,899	3.4	178,236	3.9	24,336	115.8
惣菜(サラダ・煮物他)	131,002	2.9	118,124	2.6	△12,878	90.2
調理用ソース	25,578	0.6	18,157	0.4	△7,421	71.0
冷凍食品	2,172	0.0	2,050	0.0	△122	94.4
その他	28,887	0.6	27,368	0.6	△1,518	94.7
合計	4,547,993	100.0	4,603,204	100.0	55,211	101.2

宅配・生協他	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
		%		%		%
食肉加工品(ハンバーグ・ ミートボール他)	228,701	68.6	213,954	70.9	△14,747	93.6
炊き込みご飯・まぜご飯	20,296	6.1	10,139	3.4	△10,156	50.0
惣菜(サラダ・煮物他)	64,806	19.5	64,892	21.5	85	100.1
調理用ソース	5,769	1.7	3,841	1.3	△1,927	66.6
冷凍食品	448	0.1	1,546	0.5	1,098	345.0
配慮食	1,643	0.5	3,163	1.0	1,519	192.5
その他	11,635	3.5	4,274	1.4	△7,361	36.7
合計	333,301	100.0	301,812	100.0	△31,488	90.6

## ①食肉加工品(ハンバーグ・ミートボール他)

食生活への意識が変化したことにより、家庭での食事をする機会やお弁当を持参する機会が増える傾向となりました。この変化に応じ、当社は食事のメニュー提案と共に、子供向け以外にも、お父さんやOL向けのお弁当等を積極的に提案した結果、売上は好調に推移いたしました。

## ②炊き込みご飯・まぜご飯

3人、4人世帯から1人、2人世帯が増えたことに対応し、従来の3合用炊き込みご飯に加え、7月以降に2合用まぜご飯の素「ごぼうと生姜のまぜごはん」、「高菜まぜごはん」、「ちらし寿司の素」を発売いたしました。

この結果、生協等で一部原料不足の影響で供給が不足しましたが、売上は好調に推移いたしました。

## ③惣菜(サラダ・煮物他)

ごぼうサラダは2人用の商品が好調に推移しましたが、昨年発売した少量パック「あっしリーズ」は顧客層や販売店舗を限定し、販売促進を実施してまいりましたが、目標を下回りました。

## ④調理用ソース

ファミリータイプの調理用ソースは、1人、2人世帯が増加したことにより、売上減少の要因となりました。また、野菜の高騰なども野菜用ソースの売れ行きに影響を及ぼしました。

## ⑤冷凍食品

宅配、高級スーパーを中心に販売をしてまいりました結果、宅配チャネルの2人世帯高齢者から「中華丼シリーズ」が高く評価され、売上は好調に推移いたしました。

## ⑥配慮食

食を改善したいというニーズに応え、9月に減塩、低カロリーでもコクがある「チキンカレー」、「ナスと挽肉のキーマカレー」、「ホタテのクリームシチュー」、「クリームシチュー」、「リゾットの素トマト味」の5品を発売し、高齢者、妊婦、乳幼児の子を持つ母親、中高年の方から好評を得ております。玄米、麦飯等の米飯類と合わせて食事の提案を強化してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は98億26百万円（前連結会計年度末比3億23百万円減）となりました。主な減少の要因は、現金及び預金の減少4億11百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は39億18百万円（前連結会計年度末比5百万円増）となりました。長期借入金の返済が行われた一方、固定資産の取得等による未払金が増加しております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は59億7百万円（前連結会計年度末比3億28百万円減）となりました。主な減少の要因は、配当金の支払い55百万円及び四半期純損失の計上2億94百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物は16億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億8百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

営業活動により使用した資金は1億31百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失の計上であります。

投資活動により使用した資金は9億85百万円となりました。主な要因は、定期預金の預け入れおよび有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動により使用した資金は91百万円となりました。主な要因は、配当金の支払い及び長期借入金の返済であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、第2四半期における業績予想に関する事項につきましては、平成23年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,519	3,278,060
売掛金	1,235,199	1,381,496
商品及び製品	83,122	64,577
仕掛品	2,701	3,550
原材料及び貯蔵品	164,238	165,627
その他	162,965	123,239
貸倒引当金	△1,194	△1,340
流動資産合計	5,336,553	5,015,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,679,382	1,645,876
機械装置及び運搬具(純額)	928,551	881,249
工具、器具及び備品(純額)	42,230	78,225
土地	906,296	906,296
リース資産(純額)	14,427	12,631
建設仮勘定	2,824	14,124
有形固定資産合計	3,573,713	3,538,404
無形固定資産	95,820	105,021
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,193,445	1,216,921
貸倒引当金	△49,244	△49,244
投資その他の資産合計	1,144,201	1,167,677
固定資産合計	4,813,734	4,811,103
資産合計	10,150,288	9,826,314
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	327,455	337,564
短期借入金	1,630,000	1,630,000
1年内返済予定の長期借入金	67,560	67,560
未払費用	528,100	510,483
未払法人税等	16,626	14,821
賞与引当金	75,337	78,459
資産除去債務	34,099	34,099
その他	71,197	141,200
流動負債合計	2,750,375	2,814,188



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	500,000	500,000
長期借入金	128,770	94,990
退職給付引当金	327,999	317,373
資産除去債務	40,962	40,975
長期未払金	152,005	139,894
その他	13,782	11,483
固定負債合計	1,163,519	1,104,717
<b>負債合計</b>	<b>3,913,895</b>	<b>3,918,905</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	4,709,809	4,360,494
自己株式	△8,066	△8,239
株主資本合計	6,294,144	5,944,656
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△58,322	△36,039
繰延ヘッジ損益	570	△1,208
その他の包括利益累計額合計	△57,752	△37,247
<b>純資産合計</b>	<b>6,236,392</b>	<b>5,907,408</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,150,288</b>	<b>9,826,314</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,881,295	4,905,017
売上原価	3,159,317	3,235,781
売上総利益	1,721,977	1,669,236
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	322,809	331,933
支払手数料	139,951	134,118
運搬費	585,809	574,400
販売促進費	163,220	166,524
その他	761,969	740,715
販売費及び一般管理費合計	1,973,760	1,947,691
営業損失(△)	△251,782	△278,454
営業外収益		
受取利息	2,972	3,238
受取配当金	5,769	6,127
廃油売却益	3,856	5,986
保険解約返戻金	4,875	—
雑収入	3,070	—
その他	9,797	11,303
営業外収益合計	30,342	26,656
営業外費用		
支払利息	15,226	13,990
社債発行費	7,539	—
たな卸資産廃棄損	32,398	5,950
その他	2,070	2,004
営業外費用合計	57,236	21,945
経常損失(△)	△278,676	△273,744
特別損失		
投資有価証券評価損	628	—
固定資産処分損	40,025	8,985
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,767	—
特別損失合計	128,422	8,985
税金等調整前四半期純損失(△)	△407,098	△282,729
法人税等	10,281	11,507
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△417,380	△294,236
四半期純損失(△)	△417,380	△294,236

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△417,380	△294,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,638	22,283
繰延ヘッジ損益	—	△1,778
その他の包括利益合計	△21,638	20,504
四半期包括利益	△439,018	△273,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△439,018	△273,731
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△407,098	△282,729
減価償却費	260,117	246,118
賞与引当金の増減額(△は減少)	△210	3,122
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,867	△10,626
長期未払金の増減額(△は減少)	△25,639	△12,110
受取利息及び受取配当金	△8,742	△3,238
支払利息	15,226	13,990
社債発行費	7,539	—
固定資産除却損	40,025	8,985
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,767	—
売上債権の増減額(△は増加)	△203,479	△146,296
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,308	16,307
仕入債務の増減額(△は減少)	25,154	10,109
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△560	61
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,912	13,165
その他	△31,500	△12,481
小計	△190,136	△155,622
利息及び配当金の受取額	8,753	3,244
利息の支払額	△14,482	△13,501
法人税等の支払額	△25,252	△13,373
法人税等の還付額	—	47,260
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△221,118</b>	<b>△131,992</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	300,000	863,000
定期預金の預入による支出	△350,000	△1,660,000
有形固定資産の取得による支出	△58,622	△165,987
投資有価証券の取得による支出	△3,606	△1,213
その他	△5,300	△20,973
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△117,529</b>	<b>△985,175</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	360,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△360,000
長期借入金の返済による支出	△33,780	△33,780
社債の発行による収入	492,460	—
リース債務の返済による支出	△1,833	△2,259
自己株式の取得による支出	△337	△173
配当金の支払額	△110,169	△55,078
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△153,659</b>	<b>△91,291</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△257	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△492,563	△1,208,459
現金及び現金同等物の期首残高	3,259,302	2,826,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,766,738	1,618,060

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。